

NEWS

新たな治水へ



国土交通省は国土交通大臣の諮問機関「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の初会合を12月3日に開きました。この会議は、「できるだけダムによらない治水」への政策転換を進めるとの考えに基づき、幅広い治水対策や新しい評価軸の考え方を提言することを目的としています。

◆ダムの問題点

民主党は「コンクリートから人へ」のスローガンを掲げて選挙を戦い、国民から広い支持を得て政権交代を成し遂げました。いよいよスローガンを実行に移す段階に入ったわけです。民主党のマニフェストでは公共事業について、ダムに代表される「時代に合わない国の大型直轄事業は全面的に見直す」こととしています。ダム事業には様々な問題点が指摘されています。例えば八ッ場ダムでは当初見込みの総事業費2110億円が4600億円へと一気に倍以上に増額修正されました。また、工期も当初の平成12年完成が平成27年に数度に渡り延長されました。ダムなどの大型公共事業は費用、工期とも増えていく傾向が伺えます。また、完成してからもゲートの操作や機器の補修等で維持管理に年間何億円もの費用がかかります。少子高齢化が進行し、国の借金がGDPの1.8倍に膨らむ中でのお金の使い方が問われています。また、砂が下流に流れないために砂浜がなくなり、海岸が浸食されたり、水質の悪化や生態系を破壊するなどの問題も指摘されています。

◆「幅広い治水」とは

このため「できるだけダムによらない治水」が求められているのですが、どのような方法があるのでしょうか。具体的にいくつかの方法が考えられます。①堤防を川の外側に移動させて川幅を広げることにより、河川の断面積を大きくする。②放水路を整備して洪水を放水路で分派させ、下流河川の流量を減らす。③河川敷の田んぼなどの遊水池に洪水を一時的に溜めることで、下流河川の洪水流量を低減させる。④公園や校庭など、流域の様々な場所に一時的に雨水を貯留する。⑤道路や歩道を透水性舗装にすることで雨水を地下に浸透させる。そして⑥森林の保全などが挙げられています。

「森林の保全」がなぜ治水になるのでしょうか。樹木が根を張ることで土砂の流出を防いだり、何も生えていない荒廃地よりも格段に高い保水機能を持つことになるのです。大きなスポンジに水を吸い込ませる要領です。日本学術会議の答申では森林機能の貨幣評価が行われ、洪水緩和機能は年間6兆4686億円、水資源貯留機能は8兆7407億円に上ります。非常に大きな保水力を持つ森林ですが、林業の衰退により間伐が行われなことが問題となっています。杉などの林が過密になり日の光が下方に届かなくなることで植生が衰退し、土壌が消失、森林の保水力の低下が全国的に進行しているのです。森林の保全が求められています。(了)

まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの寄付(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 （政治資金管理団体に同じ）
 会費：年間寄付金（一口）10,000円
 会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様が一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年間寄付金（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

入会のお申込、詳しいお問い合わせは

まぶちすみお後援会事務所

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

10円に悩む

「すごい所へ来てしまった」最初の感想がまさにこれです。

せっかくだから冒険しようと思立ち、初めての海外旅行に選んだのはインドでした。いくつかの旅の思い出から、今回は特に心に残っていることを書こうと思います。

施しを求める人に囲まれた経験はアジアへ旅されたことのある方は大抵お持ちだと思いますが、ご多聞にもれず私もそうでした。知識として知ってはいたつもりでしたが、実際に目の当たりにするとやはりショックで、その度ごとにお金を渡している自分がいました。といっても日本円にしたらほんとにわずか数十円、多くても百円くらいのことです。

しかし、ある日ふと気付くと、はじめは驚きの目で見ていた光景—こちらに呼びかけてくる人や、近寄ってくる子供な

どーを無視出来てしまっている自分がいました。

現地での滞在に慣れたと言えればそれだけかもしれません。でも、「人種差別なんてすることはない」と思っていた自分がそんな冷たい態度をとったのは、肌の色や言葉が違うからなのではないのか、もしあの中に同じ日本人の顔(特徴)をした人や、同じ言葉を使う子供がいたら、同じことを自分は出来たのだろうかと今でもそのとき渡さなかった10円に悩みます。

どうしたらよかったのか正解は無いのかもしれませんが、もう一度同じような体験をするときには後悔をしないよう、ちゃんと答えを見つけられるようにしっかりと自分を成長させていきたいと思ひます。

(ハマー)

週間活動報告

- 28 土 まぶちすみお上野国政報告会&懇親会、予算案作成作業
- 29 日 在京当番、予算案作成作業
- 30 月 高木前連合会長、本会議、官房総務課レク、定例記者会見、第15回税制調査会
- 1 火 副大臣合同会議事前レク、JR貨物、支持者国会見学昼食、副大臣合同会議、本会議、決裁（住宅局、道路局、河川局）、税制改正要望折衝、第16回税制調査会、建設業協会近畿ブロック青年部
- 2 水 不動産団体連合会・住宅生産団体連合会、政務三役会議、税制改正要望折衝、国土交通省政策会議、記者会見
- 3 木 副大臣会議、レク（総合政策局、航空局、官房技術調査課）、打合せ（官房総務課、道路局）、政務二役会議、政務三役会議、税制改正要望折衝、水資源部・河川局決裁、第18回税制調査会、今後の治水対策に関する有識者会議
- 4 金 衆・国土交通委員会、本会議、両院議員総会、JR貨物リサーチセンター、官庁宮繕部レク、第19回税制調査会

衆議院
議員

馬 淵 澄 夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1議員会館 437号室
 TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532